

平成30年度 相談支援部会活動報告

会議名	開催日	会議の目的・内容	構成員
第2回課題調整会議	6月20日(火)	<p>参加者 13名</p> <p>第1回相談事業所連絡会の企画（切れ目の事例検討）内容の検討。</p> <p>① 提出された事例をグループにて検討後、報告していくことで総括して「切れ目に対する意見意識の共有」</p> <p>② ガイドラインについて</p> <p>まずは相談支援専門員や行政職員など相談支援を行う者の担当が変わっても次の者が利用することでサービスの質を落とさず支援できるようにするため。</p> <p>次回の課題調整会議までにたたき台を作成し提案していく。</p>	部会員 相談支援専門員等
第1回相談支援事業所連絡会議	7月3日(火)	<p>参加者 19名</p> <p>◎切れ目のテーマについて、提出事例を元に3グループに分かれて討議を行う。</p> <p>事例提出 6相談支援事業所より14事例</p> <p>主な内容</p> <p>① 年齢による切れ目</p> <p>※就学前⇒学齢期、学齢期⇒成人、成人⇒高齢（65歳）</p> <p>② サービスの不足による切れ目</p> <p>※児童デイ（幼児）⇒放課後等デイ（学齢）送迎なくて使えない。母の仕事もセーブ。</p> <p>※グループホーム空き待ちの間に行方不明となる。</p> <p>③ 利用者及び家族のニーズと支援者の見立ての相違による切れ目</p> <p>※障害の受容が難しいため、サービスを紹介できない。</p> <p>④ 支援者が変わることによる切れ目</p> <p>※年齢、サービスが変わることにより支援者が変わり切れ目が生じる。</p> <p>対策としては、本人、家族のネットワークや関係性を構築し、丁寧につなぐ。</p> <p>◎各相談事業所及び参加者の近況、情報提供、情報共有</p>	部会員 区内相談支援専門員等
第1回高齢・障害ネットワーク会議	8月21日(火) 次回2月下旬予定	<p>8月21日(火) 16時～18時</p> <p>会場 ジョイワーク広尾</p> <p>参加者 約60名</p> <p>内容「災害時要援護者避難者支援について」</p>	区内関係機関職員等